

女は7の倍数、男は8の倍数

保健課



今月のテーマを、テレビコマーシャルで見たことがある方は多いのではないかでしょうか。これはいまから二千年前に、東洋医学の教科書ともいえる文献「黄帝内經（こうていだいけい）」にあるもので、女性は7の倍数の年齢、男性は8の倍数の年齢で、からだに変化が訪れる記されています。

例えば、女性は、7歳で永久歯に生えかわる、14歳で初潮を迎える、21歳で女性の体ができる、28歳で女性として体が最も充実する、35歳で容姿の衰えが見え始める、49歳で閉経するなどです。

また男性は8歳で永久歯に生えかわる、16歳で精通を迎える、24歳で男性の体ができる、32歳で男性として最も充実す

る、40歳で衰えが見えはじめる、48歳で白髪が目立ち始めるなどの記述があります。
現代の女性の一般的な閉経年齢は50歳前後でほとんど変わりありません。女性の体が28歳、男性が32歳でピークを迎えるという点をとらえても、現代の医学的な認識とほぼ同じで、医学が日進月歩している現代においても二千年前の体の変化が当てはまることがわかります。

自分の体は自分が一番よく知っているはずですが、若くて最も元気だった頃のイメージが強く残っています。すると、自分の体への過信から無理をしてしまい、体調を崩してしまうことがあります。まずは、今の自分の状態を正確に知ることが大切です。

男女とも40歳を超えると衰えの見え始める「節目の年齢」を迎えます。自分の体と向きあう機会として、町や会社で毎年実施される健康診査をぜひ受診ください。年に一度の健診がこれから皆さんの体調を維持する貴重な羅針盤になるはずですから。

※参考資料

厚生労働省「メンタルヘルス総合サイト」
<http://www.mhlw.go.jp/stf/youth/friend/index.html>

こここの健康コーナー

こここの健康カルタ・心の健康について正しい知識を持つていただき、より健康な町になることを願つて作成しました

は

話しあう
なかよし友と
日々過ごす

(投稿くださった方)
木下喜美子さん

は



(イラスト)
長谷川由美さん



「こここの健康カルタ」の利用について

日々の暮らしの中で大事にしたい言葉や行動が読み札になっています。心の健康づくりの一環として、このカルタを保健課で貸し出しています。使い方も説明しますので各種会合、地域の行事に活用してみませんか？詳細は右記問い合わせ先までご連絡ください。

<問い合わせ先> 保健課 ☎ 0859-54-5206